

## 平成27年度 中国四国地域マッチングフォーラム

「カンキツ農業における担い手の規模拡大と新規就農者支援による  
産地力強化を目指して」の開催について

## ポイント

- ・ 10月21日(水曜日)ににぎたつ会館(松山市)において、中国四国地域マッチングフォーラムを開催いたします。
- ・ 「カンキツ農業における担い手の規模拡大と新規就農者支援による産地力強化を目指して」をテーマに、産地力強化を目指す技術の最新情報をご提供いたします。
- ・ 本フォーラムは生産者、企業、行政機関、研究機関等、関係者の連携を深めるためのイベントです。どなたでもご参加いただけます。

## 概要

1. 農研機構は農林水産省大臣官房政策課技術政策室との共催により、「カンキツ農業における担い手の規模拡大と新規就農者支援による産地力強化を目指して」をテーマとして、中国四国地域マッチングフォーラムを開催いたします。
2. 地域マッチングフォーラムは、農業現場のニーズを踏まえた農業研究の推進と、研究成果の農業現場等への迅速な普及・実用化を促進することにより、地域農業の振興を図るため、研究者、普及指導員、生産者、行政担当者、関係団体が双方向の意見・情報交換を行うために開催しています。
3. 我が国の急峻な地形を有効活用できる重要な作物であるカンキツでは、生産農家の高齢化等により新たな担い手の確保や経営規模を拡大する必要があり、また、果樹経営の持続的な維持・発展を図るためには収益性の向上が喫緊の課題となっています。
4. 一方、カンキツの生産技術については、マルドリ方式、ICTを用いた栽培支援のための技術、傾斜地園地整備技術等の研究が進展し、これらの技術を体系的に活用するための現地実証が進められています。
5. このような状況を踏まえ、産地力強化を目指す技術の最新情報をご提供し、ご参加頂く皆様と意見交換を行いながら、研究成果の普及や実用化に向けた効果的なマッチングを図ることを目的に、当フォーラムを開催します。

報道関係各位におかれましては、当日ご参加の上、紙面、番組等でご紹介いただければ幸いです。

## 記

日 時： 平成 27 年 10 月 21 日（水曜日）13 時～17 時 15 分（12 時 受付開始）

場 所： にぎたつ会館 1 階 「芙蓉の間」  
(愛媛県松山市道後姫塚 118-2)

内容等： 別紙開催案内のとおり

内容等は農研機構近畿中国四国農業研究センターホームページ

URL: <http://www.naro.affrc.go.jp/warc/> の「セミナー・イベント情報」欄から  
もご覧いただけます。

## 問い合わせ先

開催責任者：農研機構近畿中国四国農業研究センター	所長	竹中重仁
広報担当者：同	広報普及室	林倉周子
	TEL：0877 - 63 - 8104	FAX：0877 - 63 - 1683

本資料は、筑波研究学園都市記者会、農業技術クラブ、農林記者会、愛媛番町記者クラブ、広島県政記者クラブ、日本農業新聞中国四国支所、日本農業新聞四国支局に配付しています。

※農研機構(のうけんきこう)は、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構のコミュニケーションネーム(通称)です。新聞、TV等の報道でも当機構の名称としては「農研機構」のご使用をお願い申し上げます。

<別紙>

**平成27年度 中国四国地域マッチングフォーラム**  
**「カンキツ農業における担い手の規模拡大と新規就農者支援による産地力強化を目指して」**  
**開催案内**

1. 開催日時： 平成27年10月21日(水曜日)13時～17時15分 (12時 受付開始)
2. 開催場所： にぎたつ会館 1階 「芙蓉の間」(愛媛県松山市道後姫塚118-2)
3. 主催・協賛・後援  
主催： 農林水産省 大臣官房政策課技術政策室、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構近畿中国四国農業研究センター  
協賛： 農林水産省 中国四国農政局、NPO 法人中国四国農林水産・食品先進技術研究会、攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業(うち産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立) 革新的技術(カンキツ)コンソーシアム、果樹省力・軽労化コンソーシアム  
後援： 愛媛県、広島県、日本園芸農業協同組合連合会、全国農業協同組合連合会愛媛県本部、広島県果実農業協同組合連合会、えひめ中央農業協同組合、越智今治農業協同組合
4. 対象： 生産者、生産者団体、関連企業、行政機関、研究機関ほか
5. 内容：  
開会挨拶 13時～13時15分  
  
第1部 講演 13時15分～14時45分
  1. カンキツ栽培技術の最近の進歩(気候の極端化に対応できる高品質栽培技術開発の展望)  
国立大学法人鹿児島大学かごしまCOCセンター特任教授 富永 茂人
  2. ICT技術の進歩で可能となる新たな農業生産支援サービス  
NECソリューションイノベータ株式会社  
執行役員 兼 農業支援サービス事業準備室長 島津 秀雄
  3. 園地気象推定技術の生産現場での活用に向けた取り組み  
農研機構近畿中国四国農業研究センター  
傾斜地園芸研究領域主任研究員 植山 秀紀
- 第2部 カンキツの高品質安定生産技術および園地整備技術の紹介等(情報交換とマッチング)  
14時45分～15時15分  
  
— 休憩 — 15時15分～15時25分
- 第3部 事例紹介:優良園地の集積と担い手の育成および外部労働力の活用  
15時25分～15時50分
  1. 農地の流動化、新規就農者の確保、農作業支援を効果的に組み合わせる「耕作放棄地および担い手対策」  
えひめ中央農業協同組合営農部部長代理 杉野 等

2. 農作業支援と情報提供ツールで生産者を支援する

越智今治農業協同組合営農振興部営農企画課長 森 康弘

第4部 パネルディスカッション「競争力ある産地確立に向けて」 15時50分～17時10分

コーディネーター:	農研機構近畿中国四国農業研究センター 傾斜地園芸研究領域上席研究員	根角 博久
パネリスト:	新規就農者 山口県柳井農林事務所 農業部担い手支援課主査	青井 秀典 岡崎 芳夫
	三重県熊野農林事務所 紀州地域農業改良普及センター普及第1課長	鈴木 賢
	農研機構近畿中国四国農業研究センター 傾斜地園芸研究領域主任研究員	齋藤 仁蔵

閉会挨拶 17時10分～17時15分

6. 参加費: 無料

7. 定員(全体): 先着200名

8. 報道機関の参加申込について

平成27年10月19日(月曜日)までに、「氏名」・「報道機関名」・「参加者名簿への掲載の可否」をメール([shikoku-kf@ml.affrc.go.jp](mailto:shikoku-kf@ml.affrc.go.jp))により、ご連絡願います。

9. 問合せ先: 農研機構近畿中国四国農業研究センター 広報普及室

TEL.0877-63-8143 FAX.0877-63-1683 E-mail. [shikoku-kf@ml.affrc.go.jp](mailto:shikoku-kf@ml.affrc.go.jp)